

青山学院大学

～20期卒塾生（S.K）による大学紹介～

こんにちは！今回は青山学院大学について紹介します。私は英米文学科に通っているため英語に興味がある方はもちろん、キャンパスの様子や教養授業、青学の魅力についてもたくさん語りますので、たくさんの方見ていただけたら嬉しいです！また、最後に番外編として1か月の短期留学のことについても紹介します★

<所在地>

・場所

青山キャンパス←私はこちらのキャンパスに通っています！

青山キャンパスは渋谷駅と表参道駅の間にあります。渋谷と聞くとニュースで良く映る、スクランブル交差点を思い浮かべる人が多いかと思いますが、スクランブル交差点は通らず、反対側の比較的落ち着いた通りにあります。青山キャンパス 渋谷駅から歩いて約12分、表参道駅から約3分です！

相模原キャンパス

淵野辺駅から徒歩約8分のところにある広大なキャンパスです。閑静な住宅街の中にあり、青山キャンパスの周りの雰囲気とは全く異なります。しかしキャンパスの中は外国の大学のような雰囲気で、緑が豊かで、敷地も広く比較的新しい建物がたくさんあります！

・キャンパスの周りの様子

(私は青山キャンパスに通っているのですが、こちらメインでお話させていただきます
...)

表参道側に行けば、おしゃれな落ち着いたカフェ、渋谷側に行けばにぎやかな
ご飯屋さんがたくさんあり、食べる場所で困ったことは一切ありません。食べる
ことが好き、カフェ巡りが好きな人にはたまりません！また、歩いて原宿や下北
沢にも行けるためショッピング好きにはとても良い立地です。

渋谷駅からの行き方をまとめました。いろいろな行き方がありますが、一番わか
りやすい道です！キャンパスツアーや学園祭など来校される際に参考にしてくだ
さい。今はコロナの関係で入ることが規制されていますが、今後自由に入れるよ
うになるかもしれません！↓↓↓



<学部>

青山キャンパス

文学部（**英米文学科**←私の所属している学科です！・フランス文学科・日本文学科・史学科・比較芸術学科）

教育人間科学部（教育学科・心理学科）

経済学部（経済学科・現代経済デザイン学科）

法学部（法学科・ヒューマンライツ学科）

経営学部（経営学科・マーケティング学科）

国際政治経済学部（国際政治学科・国際経済学科・国際コミュニケーション学科）

総合文化政策学部（総合文化政策学科）

相模原キャンパス

理工学部（物理化学科・数理サイエンス学科・化学生命科学科・電気電子工学科・機械創造工学科・経営システム工学科・情報テクノロジー学科）

社会情報学部（社会情報学科）

地球社会共生学部（地球社会共生学科）

コミュニティ人間科学学部（コミュニティ人間科学科）



<施設紹介>

図書館・学習室

休日も開いています。私は勉強場所として活用しています。とても静かではかどります。また、新しい図書館を建設中で、イメージ図を見たところ、とても広く、たくさんの図書があることが期待されます。完成が私は楽しみです！こちらからぜひ完成図を見てください！！！！

<https://newlib.a01.aoyama.ac.jp/>

学食

定番のカレーからチキン南蛮、日替わり麺など種類は豊富です！また、外でフゴンでのお弁当が販売されているのでそちらで買うこともできます。天気の良い日は外のベンチで食べる人も多いです。



ジム

年間3000円で通える格安ジムが青学の中にあります！街中にあるジムは一月で5000円以上が相場であるのでかなりお得です！私も実際に友達と楽しく通っています★リフレッシュにもなりますし、大学生になって運動する機会は減ってしまうので健康のためにもなります。

チャットルーム

海外の人と話せるチャットルームという部屋があります！英語だけではなく、中国語や韓国語のセッションもあるため、第二言語を伸ばすことができます。またレベル別で分けられているため、苦手な方でも安心して行ける場所です！

<大学生活について>

・授業

私が受けている授業について紹介します！

私が取っている授業は大きく2つに分けられます。英米文学科の科目と青山学院大学特有の「青山スタンダード」という教養科目の2種類です。その2科目それぞれから、決められた数だけ授業を履修しなければ卒業することは出来ません。この2つについて紹介していきます。

まずは英米文学科の授業についてです。その名前から、英語の文学をひたすら読んでいたと思った方いませんか？英語の文学だけではございません！様々な英語に関する基礎の授業から、ユニークな授業まであります。私が取っている授業の必修科目に、IE(Integrated English の略)の授業があります。ここでは、読む、書く、聞く、話す、の4技能をバランスよく使って授業を受けていきます。また、選択で取っている授業の1つに「メディアイングリッシュ」があります。社会問題に関しての海外の映画や洋画、トークショーを取り上げて英語でプレゼンする授業です。そして授業中にディスカッションも行われます。日本語でも答えることが難しいトピックがありますが、周りの人と議論し、さまざまな考え方を共有し合うことがとても楽しいです。(帰国子女が多いクラスで毎回緊張します…^^)英語の上達と共に、社会問題に関する知識も身に付けることができます。他にも「異文化コミュニケーション」「ビジネスイングリッシュ」のように英語の上達と共に、自分の視野が広がる授業がたくさんあります。また、学年が上がることに取れる科目も増えていきます(私は来年、「翻訳・通訳」「英語教育」の授業も取りたいと思っています！)必修が少なく、自分の興味のある分野についての授業が取れることも青山学院大学の英米文学科の魅力の1つです★

続いて教養科目について紹介します。教養科目も必修が少ないため、多岐にわたる分野から自分の興味のある授業を選択します。自分の学科以外の分野も幅広く選択できることが特徴です。私は「法学」や「グローバル課題とNGO」、「スポーツ」、「科学・技術の視点」を取りました。この他にも歴史や現代社会、理科、心理、情報、教育、英語系などさまざまな授業があるので、毎回履修登録期間はどの授業を取るか迷います！また、この教養科目は学部関係ないので、他学部の人とも関われる機会です！



・サークル

私はボランティアサークルに所属しています。200人以上メンバーがいます！

半年間15人程度のチームに分かれてテーマを決めてボランティア活動をしていきます。私は今までチームの一員として、フィリピンの子ども達への支援のボランティアや環境をテーマに青学内のセブンイレブンのコラボ企画、森林ボランティア、ケニアの支援、日本に来ている留学生に向けたイベント運営ボランティアをしてきました！この活動をする中で、社長さんの話を聞いたり、国際支援をしている団体の方と関わったりする機会もあります。ボランティア活動を通して、子ども達やお年寄りの方、さらに海外の方とまで交流できてとても楽しく濃い時間を過ごしています！サークルのメンバーは他学年や他学部の人たちもいるので、友達の幅も広がります。先輩からはパワーポイント作りのコツや動画制作の仕方など、授業で習わないことも教えてもらえるのでとても勉強になります。さらに、ボランティア活動をするだけではなく、時々メンバーみんなで遊びにも行くのも楽しみの一つです★



<青学の魅力>

・立地の良さ

上でも述べましたが、毎日行っても飽きることはありません！渋谷には何でもあります！レストランやカフェ、美容院、娯楽施設がたくさんあります。「次はここ行ってみないー??」と友達と会話を弾ませています！！また、栗橋駅、南栗橋駅からそれぞれ乗り換えなしで行くことが可能です。そして、都内の良いところは会社が圧倒的に多いため、様々な会社と関わる機会を持つことができます。インターンなどもしやすいです。私も実際にサークル関係で直接会社にコラボのアプローチをするときは近くて行きやすかったです！

・大盛り上がりの青山祭

毎年10月の末に行われます。注目ポイントはトークショーやライブです！！過去には吉沢亮さんや本田翼さんも来たことがあるほどの豪華俳優や人気なアーティストが来ます！他にもファッションショーやサークルごとの企画があります。

・駅伝

青学は毎年箱根駅伝に出場しています！壮行会を見られたり、新聞部に入っている友達は実際に取材をしたりしています。近くで応援することができるため、駅伝好きには注目ポイントです！また、選手もいち大学生として授業を受けているため同じクラスに駅伝選手がいることももちろんあります^^

青学の魅力についてもっと知りたい！！と思ってくれた方はぜひ「青学TV」をご覧ください！キャンパス内や青学生の様子など動画で見ることができます。下のURLからサイトに移ります。

<https://aogakutv.jp/>



<interview>

・青山学院大学の英米文学科に行きたいと思った理由

私は高校生の時に、将来英語の教師になりたいと思っていました。教えることが好き、そして英語が好きだったからです。しかし、英語は好きですが英語に関して自信があまり持てない状態(実際共通テストは英語ではなく、国語と地学基礎の方が得点が高い)でした。教師になるためにもっと英語に関する教養を身に付けて、自信をつけたいと思い、英米文学科で専門的に学ぶために青山学院大学の英米文学科に行きたいと考えるようになりました。また、他の大学にも英米文学科がありますが、青山学院大学に決めた理由は3年からの分かるコースの「英語教育コース」に魅かれたからです。英語に関して学ぶことができ、更に教育の分野についても学ぶことが出来るのは私のやりたいことにぴったりだと感じ、青山学院大学の英米文学科に行きたいと感じるようになりました。このように同じ英米文学科でも大学によってカリキュラムは異なります。自分に合った内容が学べるように詳しく調べることはとても大切です。

・教職課程について（大学選びをしている高校生向け）

私は将来教師になるために、英米文学科の授業に加えて教育の授業を取っています。これは卒業単位には含まれないので、他の人よりもプラスして単位を取る必要があります。正直大変なことではないの？と思う人もいるかもしれませんが、中には教師を目指している人の中で、教育学部に行くか、他の学部に行って教員免許を取得するかを迷っている人もいます(先日母校の高校を訪れる機会がありましたが、そこでもたくさんの生徒に質問されました)。私も大学選びの時に迷いました。入ってから感じたことはどちらにもメリット、デメリットはあるということです。まず、英米文学科に入って良かったと感じることは、英語を専門的に学べて、自信もついてきたことです。好きな英語を学ぶことは何より楽しいですし、英語力が上がっていると実感する時があります。授業も周りには帰国子女がたくさんいてとても刺激的です。デメリットとしては周りに教師になりたいという人が少なくモチベーションを保ちにくいということです。当たり前ですが、教育学部とは異なり、将来は教員以外の道に進む人が多いです。私は教育学部に行った高校の友達と時々会ってモチベーションを保ったり、情報を共有し合ったりしています(→利点として捉えると、教員以外の道にすぐに変更しやすいこと)。また、中学と高校の教員免許のみが取得可能となっています(※教育学部は小学校の免許も取れる大学がほとんど)。また、教職を取っていると忙しい？という疑問に対しては、私は今のところそこまで大変だとは思っていません。アルバイトを二つ掛け持ちし、サークルのチームリーダーをしていますが、単位は一つも落とすことはありません(正直テスト前はハイハイします^^)!! ほとんど毎日予定が入っている状態ですが、逆に時間の使い方を考え、隙間時間を有効に活用できるように工夫できるようになりました。とても充実していて楽しい大学生活を送っていて、自分には合っているように感じま

す。教育学部や他の学部にはどちらも異なった良いところがあります。自分にはどちらが合っているかをじっくり考えて志望校選びをすることが大切です。

・せいらん舎での日々を振り返ると

私は家では集中できず、毎日のようにせいらん舎に行っていました。こんなに毎日遅くまで開けてくれる塾は他にはないと思います。当時の頃を思い出してみると、中3の受験期には平日は学校から帰ってきてから、すぐ(17時くらい?)にせいらん舎に行き、夜は22時50分まで(23時は補導されるため)。休みの日は13時頃行き、平日と同じ22時50分までいた記憶があります。それを習慣化させていました。私はせいらん舎で勉強して、家ではゆっくりするか、自分の好きな教科をやって、メリハリをつけていました。せいらん舎はとても集中ができて勉強の効率も良くなり、居心地が良かったです。そして、先生もいて分からないところはすぐに聞ける環境は他にはありません。正直遊びたい、家でダラダラしたいという時もありました。でも、そこを一回我慢して、せいらん舎に行って勉強を始めると、乗ってきてはかどるという経験を何度もしてきました。反対に行かないで一日家でダラダラしてしまったら、罪悪感が大きくなっていました。せいらん舎に行けば一緒に頑張っている友達を目の前にして自分も頑張ろうという気持ちになれます。そのような勉強に適した環境があったからこそ私は毎日のように行っていました。

・メッセージ

「勉強大好き!」「休みの日もずっとやっていたい」と思う人よりもどちらかと言うと勉強したくない…と感じている人が多いと思います。(私も正直数学や理科は特に苦手な逃げ出したかったです…)でも、私は志望校に合格したいという思いが強く、合格した後のことを思い浮かべていました。そして、唐突ですが、私は高校生活本当に楽しかったです!本当に第一志望の高校に入れてよかったと高校卒業しても思います。そして、大学もまた規模が大きく、様々な価値観を持つ友達とも出会えて毎日が充実しています。人生に一度しかない高校や大学生活は自分の行きたい志望校で過ごしたくないですか?でも高校や大学には定員があります。その中に入るためには勉強が必要です。目標の高校や大学に入学するために今の自分には何が足りないのかを考えて、計画的に勉強していくことも大切です。受験生は特に辛い時期だと思いますが、絶対合格するんだという気持ちを持ち、自分の高校生活や大学生活を思い浮かべて頑張ってください!

大学レポートは以上になります!ここまで読んでいただきありがとうございます。

また、番外編として2月中旬から1か月間行った短期留学についてのレポートも載せます。海外に興味のある方はぜひご覧ください!

留学体験談



1か月のカナダ、バンクーバーでの留学生活についてお話します★



春休み期間にカナダのバンクーバーにあるプリティッシュコロンビア大学に留学に行きました！その時の様子をお伝えします。留学に興味ある方はぜひご覧ください。

1日のスケジュール

平日

6時30分 起床

7時30分 出発

9時～15時45分 授業

16時 友達とビーチ、ショッピング

18時 ご飯

19時 勉強、シャワー、フリータイム

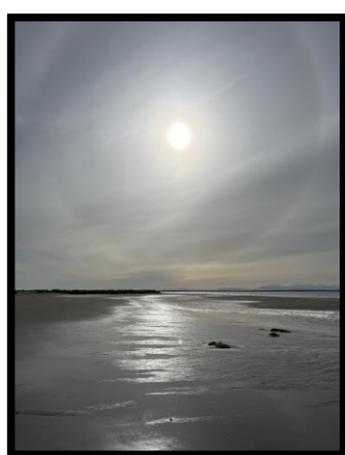
23時 就寝

休日は観光地に遊びに行きました！

学校の様子

プリティッシュコロンビア大学（以下 UBC）はとても大きな学校で、敷地内に校舎はもちろん、フードコートやレストラン、病院や農場、ビーチ、スーパーなど1つの町のような場所です。正直栗橋よりも大きいと思います。バスが通っていて、学校内の移動をバスですることも多々ありました。私は UBC でカナダ文化、環境、労働環境、人権を学びました。授業は全て英語で行われます。またずっと教室内にいただけではなく、よく外に出て歩いている人、働いている人に取材する活動もありました。また先生はユーモア溢れる優しい性格をしていて授業は楽しかったです。1つ残念に感じたのはクラスメイトが日本人であったことです。これは事前には知らされていなくて、初日に知りました。英語 only ポリシーがあり、授業内では英語でしたが、学校外に出ると日本語で話す機会がありました。たしかに通っていたところは英語を学ぶ場所であり、日本では春休みであったため、日本人が集まるのは仕方ないと感じましたが、休み時間になると日本語でずっと話している人も見ました。学校内では日本人がほとんどであったため、他の場所で他国の友達を作ろうと頑張り、その友達とカフェで話したりもしまし

た。学校選びの際に日本人の割合を調べるのはとても重要なことだと感じました。ただ、UBC 内にはたくさんの海外の方がいるため、学校内のアクティビティでは海外の人と関わる事が可能です。



(左から学校内のビーチ、フードコート内、最後の日のピザパーティーの様子です)

ホームステイの様子 🇯🇵

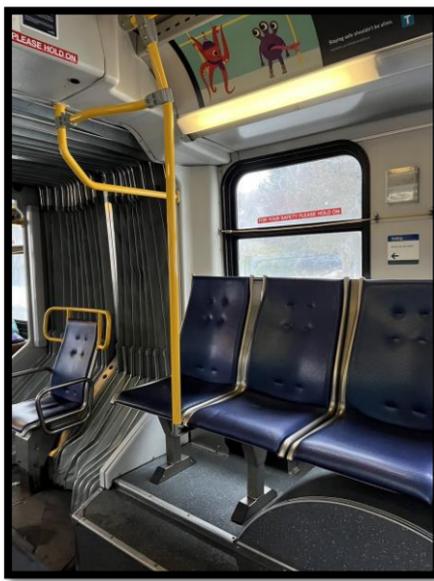
私にはホストマザーとホストファザーがいました。フィリピン出身の方であったため、フィリピンの料理を楽しみました。(カナダは特に移民が多い国なのでカナディアンでホームステイする確率はかなり低いです！でもカナダに長年住んでいる方が多いのでカナダ文化に染まっています^^)ホストマザーは料理が上手で、よくチーズケーキやパウンドケーキを焼いてくれました。基本的に全て美味しかったのですが、一品だけ苦手で食べられないものがありました。何口かは食べたのですが、謝罪と共に食べられないと伝えました。そしたら、「okay okay」と怒る様子もなく残して良いと伝えてくれました。全く手をつけなくて残すのは良くないと思いますが、少し食べて正直に食べられないことは伝えるべきだと感じました。ホストマザーは学校から帰ってくると「How was your school?」「Do you have any plans on the weekend?」などよく会話をしてくれました。また、よく「Don't be shy!!」と言われていました笑 ただ、友達とご飯を食べたり遊んだりして帰りが20時以降になると、すでに寝ていることが多く、話さない日もありました。また、友達の話を聞いていると住んでいる階が異なり、話さないことが多いという家庭や料理が合わないなど、不満を持っている人も多かったです。正直なところ、ホームステイはビジネスでやっている家庭がほとんどなので大きな期待をしていくと、思っていたのと違うと感じる場合が結構あります。また、ホストファミリーが話しかけてくれると受け身になるのではなく、積極的に自分から話しかけることが大切だと思いました。



(左はラーメンのような料理で、右はチーズケーキです)

バンクーバーの様子 🇨🇦

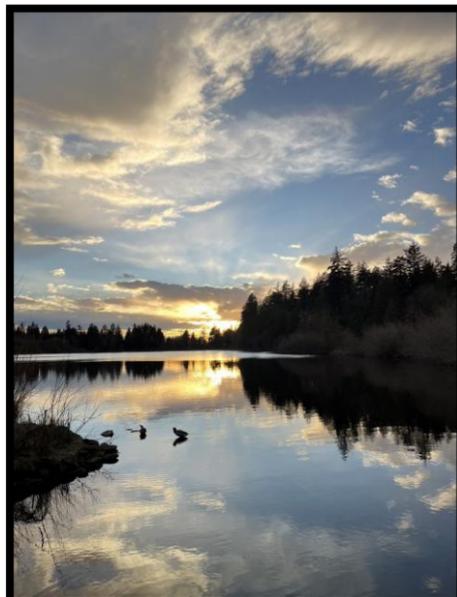
私は 2-3 月をバンクーバーで過ごしたため、とても寒かったです。マイナスになることが多々ありました。また雨の日が多かったです。レインクーバーと呼ばれるほど冬は雨や曇りが多くて、日の入りが見られるのはレアでした。その分夕日を見られた時の感動は大きかったです。またバンクーバーにはたくさんのビーチがあるため、ビーチから見る夕日は最高でした。物価は高く、夜ご飯を外で食べる時は平均 2500 円くらいでした。またチップ制度があるためレストランで食べる時は 15% プラスでかかります、、交通に関してはバスが発達しています。私も学校までバスで行っていました。しかしバスは遅延、さらに先に行ってしまうことも多々あり、時刻通りに来ることは少ないです。バス停に早く着きすぎて近くのスーパーで時間までに買い物していて、その後バス停に向かったら定刻よりも先に行かれていたことがありました。道は基本的に真っ直ぐで日本と違う点は道に全て名前がついていることです。日本は東何丁目のようにエリアで住所などが決まっていますが、バンクーバーら〇〇ストリートのように道がベースとなっています。私的には分かりやすいと感じました。



(左はカナダで有名なプティーン、右はバスの中の様子です。バスは日本の 1.5 倍くらいの大きさです。)

楽しかったこと 🇨🇦

放課後ビーチに行ったり、学校のアクティビティとしてカーリング体験をしたりしたことです！カーリングははじめてだったのですが、投げるのがとても難しかったです。チーム対抗でゲームをしたりして遊びました！UBC 内の日本語テーブルにも参加しました。日本語を学びたい海外の方とお菓子を食べながら会話を楽しみました。また、土日には観光を楽しみました。



(左はカーリング、右は公園です)

ハプニング&つらかった点

お風呂がなかったことが結構辛かったです。マイナスにもなるほど寒かったので湯船で温まりたい気持ちでいっぱいでした。また、バスの時に使う「compass card」(日本でいう Suica のようなもの) がエラーで使えなくなるハプニングがありました。これがないと交通機関に乗れず、学校にも行けないため、カスタマーサービスに電話した時は本当に緊張しました。集中して担当の方の英語を何とか聞き取り解決しました！また、雪でバスが動かなくなったり、突然バスが故障して降りることになったり、1ヶ月だけでもたくさんの経験をしました。

英語力向上のためにやったこと

留学に行くだけじゃ英語力は上がらないとの情報は多々聞いていたため、自分なりに出来ることを考えていました！

・日記を書く

ノートを1冊持って行って毎日英語で日記を書いてました！英語の勉強はもちろん、記録にもなりますし一石二鳥です^^

・分からない単語はメモ

道中で見つけた単語や現地の友達とのメッセージのやり取りの中で分からない単語はメモをしていました。

・日本人とも英語で話す

上で日本人が多かったと言いましたが、モチベーションが高い友達と一緒に休み時間も英語で会話をしていました。

1ヶ月留学の意味

よく1ヶ月で英語力は伸びるの？という疑問をネットで見ます。個人的な意見として1ヶ月では伸びません。しかし、行く前の英語の勉強は大切だと感じます。行ってから伸びるのではなく、行く前からの準備が必要であり、行ったあとは学んだことの実践です。また、行った後は自分の英語力の低さを痛感します。学校の先生は私達に分かりやすい英語で話してくれます。しかし街の人は当たり前ですがそのようなことはありません。容赦ないスピードで話します。特に自分のリスニング力の低さを感じました。行く前の勉強、渡航後の自分のレベルの再確認、帰国後の自分の足りない点の勉強を含めて英語力が伸びると感じました。

また、1ヶ月の留学では英語だけではなくその国の文化や人々の考え方を学ぶことが出来ます。私の場合は今後長期で留学に行く予定があり、その前の体験という意味も込めて1ヶ月で行くことを考えていました。ホームステイの雰囲気や外国特有の街の雰囲気、入国、出国の様子を感じることができ、次の留学に活かしたいと思いました。私のように長期で留学したいと考えている方には2週間-1ヶ月ほどの海外経験をすることをオススメします。私の知り合いで長期

留学する予定だったが行って辛すぎたせいかすぐに帰ってきてしまった話を聞いたことがあります。留学は莫大なお金がかかるため正直もったいないです。自分には本当に海外の生活があっているのかを確認するべきだと感じました。また留学準備は長い時間がかかります。自分の目的に合わせて国を決めたり、学校を決めたりするので、出発直前で決めるとなかなか思うようにはなりません。少しでも留学に興味のある方は情報収集から始めると良いです。

感想

1人で海外に行くのははじめてであったため、とても緊張していました。また、スマホのSIMカード、ワクチン接種証明書、海外保険など用意することもたくさんあり、行く前はバタバタしていましたが、無事に出発できました。到着後も不安が大きかったのですが、意外と何とかなる精神で生活しました！私はまたすぐに長期で留学に行きます。今回の1ヶ月の留学を活かして、更なる英語の向上を目指して準備していきます！留学生体験談も含めてここまで読んでいただきありがとうございます。ぜひ参考にさせていただけたら幸いです！！